



ネ、サービスが自由に移動する共同市場、さらには、共通通貨を採用する経済同盟は提言されていない。欧州の市場統合のように主権の委譲は想定されておらず、日本政府の進め

## 東アジア共同体と 鳩山外交

鳩山首相は、九月二二日の中国の胡錦濤国家主席との会談で「東アジア共同体」構想を提案した。「東アジア共同体」構想は、鳩山首相のアジア重視姿勢の象徴とされている。民主党は、マニフェストで「東アジア共同体」構築を公約としている。マニフェストの外交では、「東アジア共同体の構築をめざし、アジア外交を強化する」と述べ、アジア諸国との信頼関係の構築、通商、金融、エネルギー、環境、災害救援、感染症対策などの分野でのアジア・太平洋地域の域内協力体制の確立、経済連携協定（EPA）、自由貿易協定（FTA）の交渉の積極的推進、を具体策として掲げている。

東アジアの範囲については、アジア・太平洋地域となっており、ASEANプラス6と考えるのが自然であろう。具体策のうち、は機能的協力といわれる分野であり、すでにASEANプラス3（日中韓）の枠組みで協力が行われている。のEPA、FTAは、二国間の交渉が積極的に行われており、ASEANプラス日本、ASEANプラス中国、ASEANプラス韓国、ASEANプラス豪州、ニュージーランドのFTAは締結されている。残る課題は、日中韓の間のFTAと東アジア全体のFTAである。

首相は、「日中が機軸となつて東アジア共同体を構築したい」と呼びかけたが、東アジアの協力の枠組みは、ASEANを中核として築き上げられてきており、主導権を奪われると懸念するであろうASEANとの調整が必要であろう。日中は巨象であり、対立するのは困るが愛し合うのも困るとあるASEANの首脳は述べている。日中間で信頼を醸成し、ASEANの懸念を払拭すべく、協力して進めるべきであろう。

\* アジア研究所だより\*

アジア研究所 叢書 23の紹介  
『東アジア共同体を考える』  
定価 本体 一、二〇〇円（税別）  
昨年度の公開講座をまとめ、今春発行しましたのでご案内します。

目次

東アジア共同体構築と日本の役割  
……浦田秀次郎（早稲田大学教授）  
東アジア共同体に慎重に対処すべし  
……渡辺利夫（拓殖大学学長）  
共同体形成で先行するASEAN  
……石川幸一（アジア研究所教授）  
日本企業の東アジア進出  
……西澤正樹（アジア研究所准教授）  
アジア共通通貨導入の考え方  
……大西義久（セントラル短資（株）代表取締役社長）

研究プロジェクト 研究会開催状況  
研究プロジェクト「新段階を迎えた東アジア」  
4月27日 テーマ「グローバル化と新し  
い捉え方」  
発表者 友田 錫（嘱託研究員）

5月25日 テーマ「現代のイスラム金融経済研究」  
発表者 三木敏夫（アジア研究所客員  
研究員）

6月29日 テーマ「アジア共通通貨」  
発表者 近藤健彦（明星大学教授）  
研究プロジェクト「東南アジアのグローバル化と  
リージョナル化とその影響」  
5月16日 テーマ「メコン開発の現状と課題」  
発表者 石田正美（アジア経済研究所  
主任研究員）

7月18日 テーマ「ASEAN憲章について」  
発表者 鈴木早苗（アジア経済研究所  
新領域研究センター）